

河内長野市

安心できる集団づくりとわかる授業づくり

通常の学級における授業づくりのための長野小学校スタンダード

以下の10項目の達成状況について、達成状況の段階を示した文章を読み、1～4の中から選択してください。

年 月 日 学校名() クラス() 評定者()		1	2	3	4
1	授業環境を確認する(机の並び方、落ちているもの、収納状況(道具箱、机の中)、掲示物等)	机が並んでおらず、落ちているものや、収納されるべき場所に収納されていないものが多い。	机の並び、落ちているもの、収納状況の中の1つは整理されている。	机の並び、落ちているもの、収納状況の中の2つは整理されている。	机が整然と並んでおり、落ちているものはなく、収納状況も整理されている。
2	教科書、ノート、筆箱等、必要なもののみを机上に置いておくか確認する。	授業で使う必要なものが机に出ているかどうかの確認がなく、机上が雑然とした状態で授業が開始されている。	授業で使う必要なものが机に出ているか口頭で確認し、机上が整理されるのを待っている。	授業で使う必要なものを視覚的に示して確認し、机上が整理されるのを待っている。	授業で使う必要なものを視覚的に示し、さらに机間巡視によって確認を行っている。
3	授業のめあてを書き(貼る)、本時のポイントを明確に示す。	授業のめあてが提示されていない。	授業のめあてが授業の途中で提示されている。	授業のめあてが黒板に明確に示されている。	授業のめあてが黒板に明確に示され、授業終盤の振り返りに活用している。
4	全員が静かにするルールづくりと、静かになったことを確認してから話し始める習慣をつける。	全員が静かにするルールがなく、私語、手遊び、立歩きが目立ち、教員一人で話している場面が多い。	全員が静かにするルールがあるが、静かになったことの確認が不十分である。	全員が静かにするルールがあり、静かになったことを確認してから話す習慣がある。	全員が静かにするルールがあり、間・姿勢ができたことを要める習慣がある。
5	板書を工夫する(板書の量・書く位置、区切り線をつける、色の配慮等〔赤で文字は×〕)。	板書に計画性がなく、児童が板書の書き写しに困ったり、授業の流れがつかみにくい板書になっている。	時間の流れをつかめ、色等の区別・配慮がみられる。	時間の流れをつかめ、色の配慮と区切り線などが用いられて構造化の工夫がみられる。	時間の流れをつかめ、強調・色の工夫・区切り線、マス目の活用がなされて板書が構造化されている。
6	今は、「聞くとき」と「書くとき」「話すとき」を区別し、同時に提示しない	指示が不明確であり、聞くとき、書くとき、話すときなどの区別が不明確である。	聞くときと書くときなどの区別があり、児童が切り替えられている。	聞くときと話すときなどの区別があり、児童が発言しやすい・注目しやすい工夫がみられる。	視覚提示やサインなどによって、聞くとき、書くとき、話すときの区別が児童に分かりやすく示されている。
7	できるだけ視覚的に示すことができる教材・教員を活用する(視覚支援)	視覚的に示す教材・教員の活用がなく、ことばだけの説明になっている(流されている)。	視覚的に示す教材・教員の多くは文字によって示されている。	視覚的に示す教材・教員に具体物や絵カードなどが用いられている。	視覚的に示す教材・教員に具体物や絵カードが用いられて、児童からの見え方にも配慮がある。
8	子どもの努力や取組の状況をほめる場面を多くつくる。	発表や取組を褒める状況がなく、叱責や注意が多い。	発表や発言ができる場面が多く認められているが、褒める場面は少ない。	発表や発言に対して、児童が認められる場面が多く設定されている。	発表や発言に教師だけでなく、クラス全体から認められる場面がある。
9	本時の授業を子どもが振り返り、教員がまとめてポイントを復唱する。	チャイムが鳴った時点で、授業内容の説明が続いている。	授業のまとめ、振り返りの時間に、先生が本時のポイントを復唱し、児童は聞いている。	授業のまとめ、振り返りの時間に、クラス全体で本時のポイントを復唱する場面が設定されている。	授業のまとめ、振り返りの時間に、本時のポイントを発表する等の言語活動場面が設定されている。
10	授業の中で、リスタートを数回設定できるようにする。	授業の中で、リスタートの場面がなく、始まってから終わりまで連続した授業が続いている。	授業の中で、リスタートの場面が1回設定されている。	授業の中で、リスタートの場面が数回設定されている。	授業の中で、子どもの集中状況に応じて、効果的なリスタートの場面が数回設定されている。

・わかる授業づくりのための○項目

・支援のためのアセスメント →合理的配慮

わかる授業のための○項目

	項目	配慮が必要となる状況の例
1	聞く	<ul style="list-style-type: none"> 聞き間違いがある(「知った」を「行った」と聞き違える) 個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい 話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず、ついていけない)
2	話す	<ul style="list-style-type: none"> 適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す、とても早口である) ことばに詰まったりする 思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい
3	読む	<ul style="list-style-type: none"> 初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える 文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んでたりする 音読が遅い
4	書く	<ul style="list-style-type: none"> 読みにくい字を書く(字の形や大きさが整っていない、まっすぐに書けない) 漢字の細かい部分を書き間違える 限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない
5	計算する	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な計算が暗算できない 計算をするのにとても時間がかかる 答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい
6	推論する	<ul style="list-style-type: none"> 学年相応の量の比較や、量を表す単位を理解することが難しい 学年相応の図形(丸やひし形などの図形の模写、見取り図や展開図)を描くことが難しい 目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい
7	運動	<ul style="list-style-type: none"> 走り方や体の動かし方にぎこちなさがある ダンスなどの模倣運動が難しい
8	器用さ	<ul style="list-style-type: none"> 学習用具や実験器具等を学年相応に使うことが難しい 手指の細かな動きを要する作業が不得意である
9	注意集中	<ul style="list-style-type: none"> よく時間に遅れる 本を最後まで読みきることが不得意 物を整理することが不得意で物をなくしやすい
10	多動・衝動性	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に着席してられず立ち歩いたり、椅子や机をたたくて鳴らしたりする 順番を待つことが不得意だったり、一番前に並ぼうとしたりする 最後まで話が聞けなかったり、結果を考えずに先に行動してしまう
11	興味関心の偏り	<ul style="list-style-type: none"> 特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない 自分なりに独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる
12	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 会話が形式的で抑揚なく話したり、間合いがとれなかったりする
13	対人・社会性	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな話をしますが、その時の場面や相手の感情や立場の理解が難しい 友達と仲良くなりたいという気持ちはあるが関係をうまく築けない 球技やゲームをする時、仲間と協力することに考えが及ばない

アセスメント

- ・アンケート(子ども、教員)
- ・グッドイナフ人物画知能検査
- ・評価テスト
- ・MIM

など

「学習・行動面の状況」

◎ 学級の児童生徒全員について記入

◎ 各項目について次の5段階(1～5)で記入

「3」の場合は、記入は不要。

小学校区 中学校区	年	組	配属の必要	天	1	2	3	4	5	6
			学年相応	(不明:0)						

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
	聞く	話す	書く	計算する	推論する	運動	読書	注意集中	多動・衝動性	興味関心の偏り	コミュニケーション	対人・社会性				
1									2							
2																
3									1							
4																
5																
6																
7																
8									2							
9																
10																
11									2							
12																
13																
14									1							
15																
16																
17	2	2			1			2	1	2		2				
18									2							
19																
20																
21																
22																
23									1							
24																
25									2							
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																

注意集中に1, 2の子が多いなあ。何か手立てが必要だ。

この子は個別に支援が必要だな。

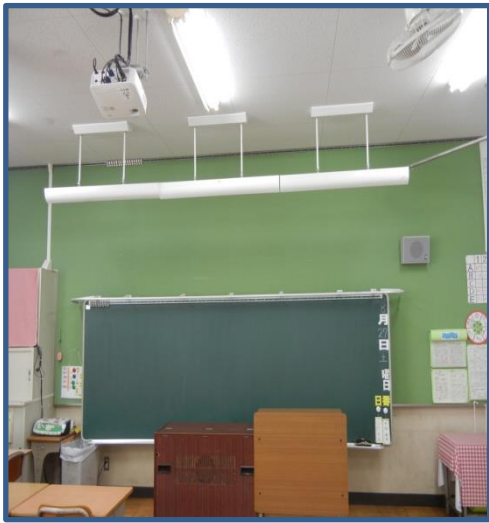


いっしょ♪

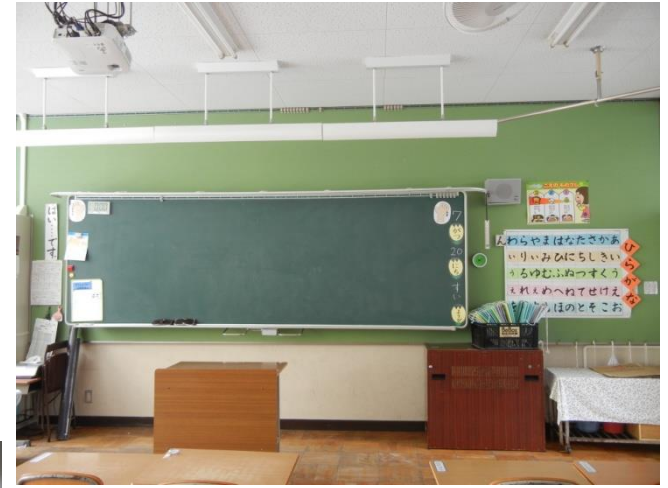




朝
来たとき



すっきり



暗幕
プロジェクターが
見やすい

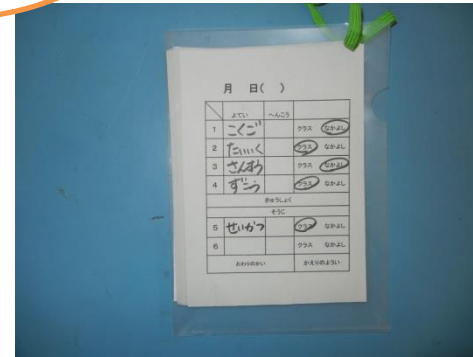
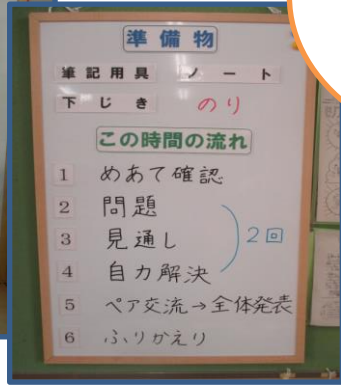
まえ



うしろ

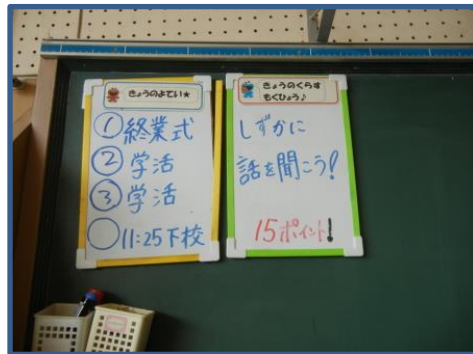


1日
1時間の
見通し



クラスで

支援学級で



きくとき



今ここ

今 何するとき

書くとき

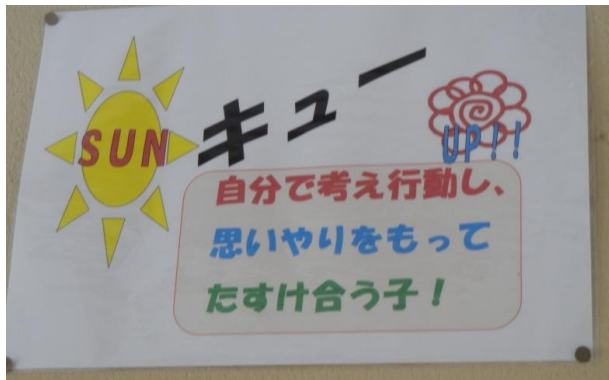
話すとき



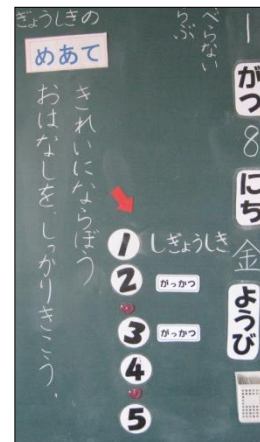
左 右

とら うし





学年目標は前に



〇〇小学校の学習の決まり

しょくいんしつ はい
職員室に入るときのルール

① ^{かい}ノックを3回した^らいます。

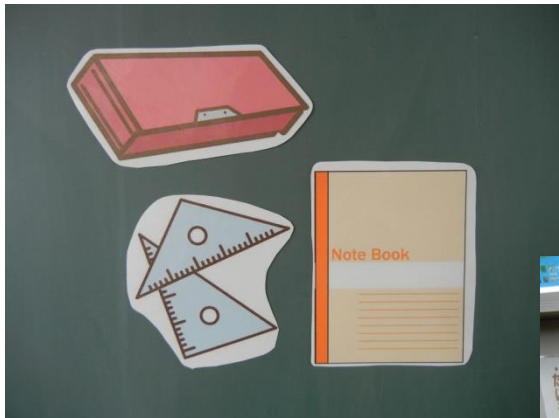
② 入る時は「しつれいします。」と言います。

③ ^{あか}赤い^{せん}線のところで^{とまり}とまり、「^{ねん}〇年^{くみ}〇組の〇〇で
^{せんせい}す。」^{せんせい}「〇〇先生いらっしゃいますか。」と言っ
 て、伝えたいことや^{ようじ}用事を言います。

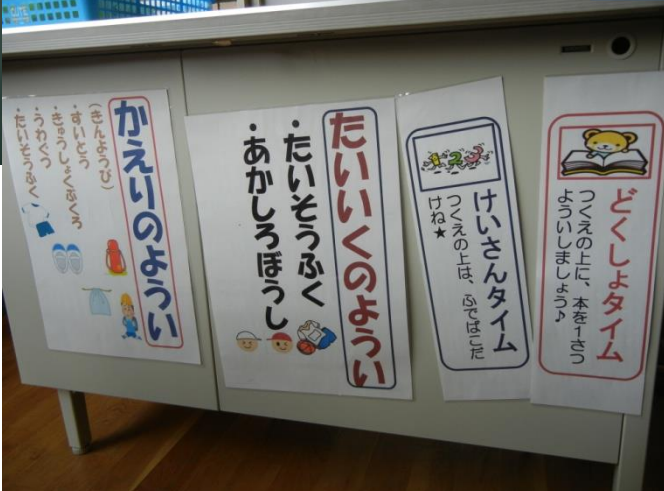
④ ^{しょくいんしつ}職員室を出るときは、「しつれいしました。」と言っ
 て出ます。



今 机の上にあるもの




今日は 何の日



給食の時間


給食のきまり!

12時45分 「いただきます」 

12時55分 おかわりタイム

13時00分 もぐもぐタイム

※おしゃべりをせず集中して食べること

13時05分 「ごちそうさま」 


きゅうしょく
たいむ 

もぐもぐたいむ ごちそうさま
はみがきたいむ




いただきます

★ 2じかんめ はじまり



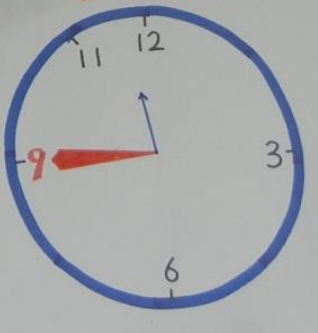
(9じ45ぶん)

★ 3じかんめ はじまり




(10じ50ぶん)

★ 4じかんめ はじまり



(11じ45ぶん)

★ おひるやすみ はじまり



(1じ15ぶん)

わかりやすく 片づけやすく

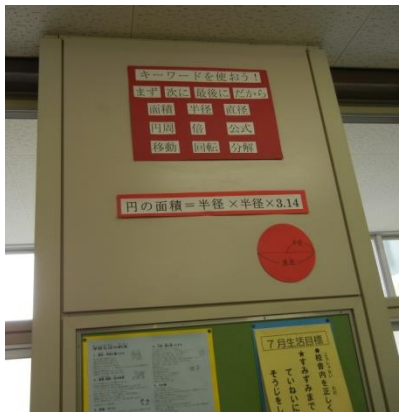
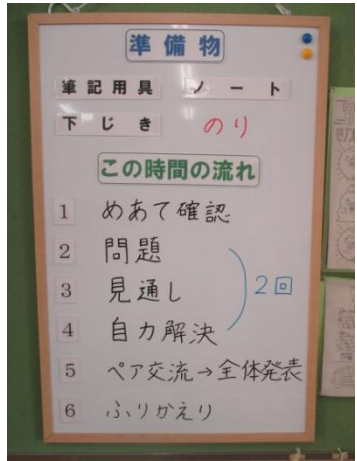


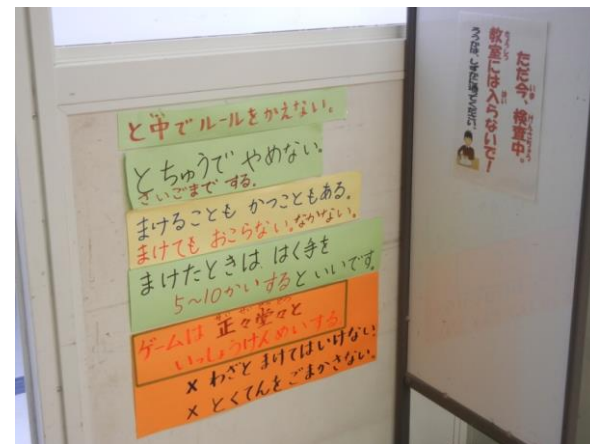
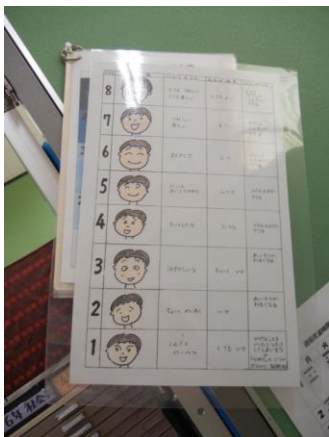


テンポ よく

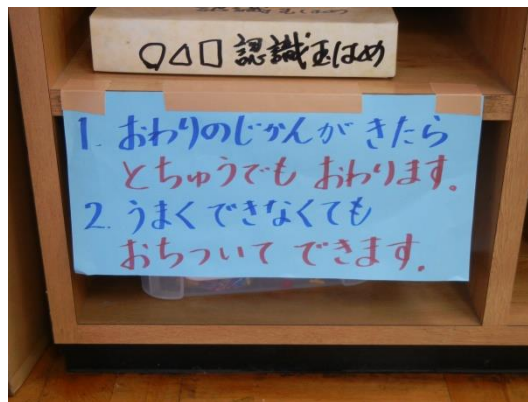
研究授業より

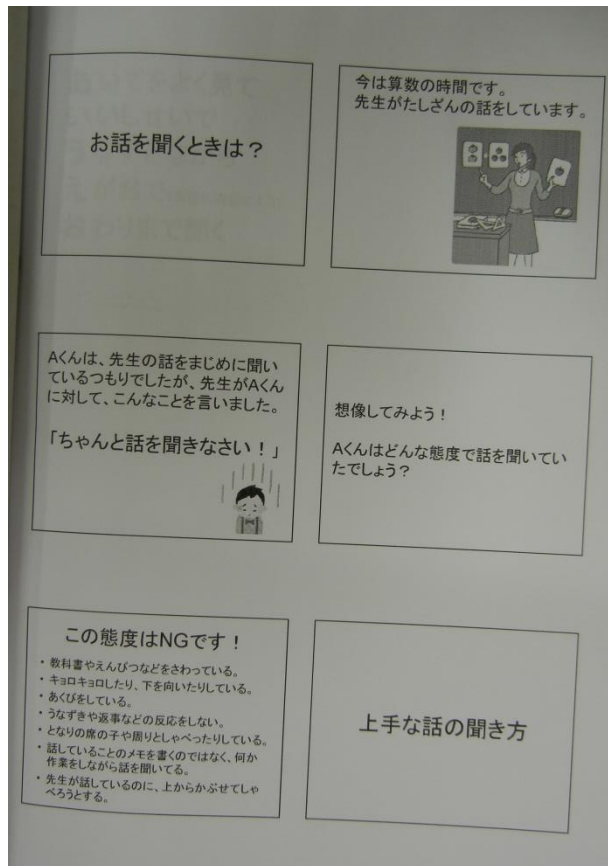
横を見れば ヒントが



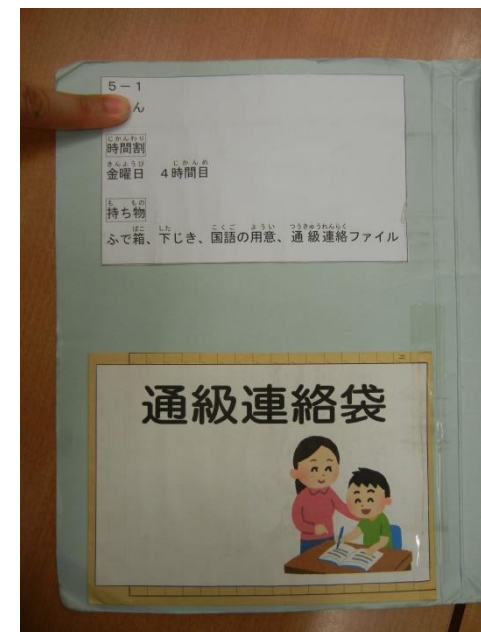


通級指導教室





持ち物 来る時間



パワーポイントでパソコンに写して



上靴をはくのが苦手な児童のために

支援学級だけ裸足OK

ピカピカに磨かれていました。

毎週金曜日はお掃除の日



支援学級

学習道具



鉛筆は苦手

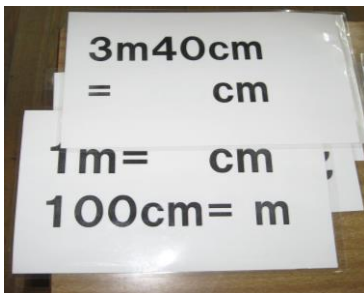
ホワイトボードマーカー好き



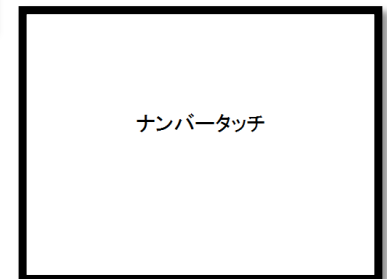
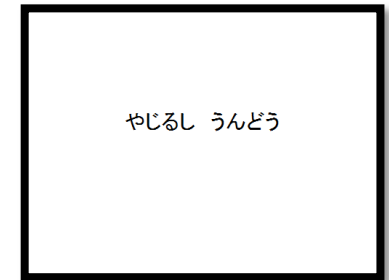
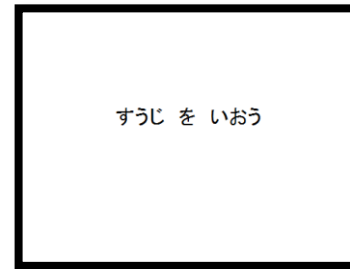


個々に合わせて

リスタート
フラッシュカード



朝の計算タイムの前に



ありがとうございました